

オトギリソウ科

トサオトギリ

Hypericum tosaense Makino

兵庫県ランク… A

環境省ランク… CR

■ 県内分布

東播磨、西播磨

■ 国内分布

本州、四国

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境 ○	特殊な分布 ○
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界 ○
		希少 ○

■ 特記事項

現在国内で生育を確認できるのは兵庫県だけである。県内では3ヶ所に知られている。分布の東限。

■ 保護上の留意点

生育地では、2018年頃からイノシシの掘り起こしによる影響が顕著となっており、壊滅的な被害を受けている個体群もあるため、早急な対処が必要である。

■ 種の概要

地下茎は木質で、茎は2-3本叢生して、直立、分枝し、高さ15-75cm。細くて硬い茎には、2条の隆起線が走る。葉は長楕円形または長楕円状披針形、長さ1-2cm、小さな明点が密に入り、縁には黒点が並び、裏面には脈が隆起する。花序は少数の花からなり、茎の先や上部の枝の先に出る。花柄は短い。花卉はゆがんだ倒卵形で、長さ8.5mm、多数の脈が走り、明点と明線が入り、縁には黒点がある。



写真提供:小林禮樹